

教科目標

理学療法士学科（昼間3年制）

養成目的

本学科は、当校の建学の理念である「実学教育」、「人間教育」、「国際教育」に基づき、社会情勢とともに変化する「保健」・「医療」・「福祉」のそれぞれの立場で幅広く貢献できる理学療法士の育成を目的とする。

教育目的

専門職として必要な知識・技術・態度を身につけ、本校卒業後も自己研鑽に励み誠意と責任を兼ね備えた理学療法士の育成を目的とする。

学年（学期）目標

学年	到達目標
1年次	<ul style="list-style-type: none">・医療専門職として、自己主導型学習と問題解決能力を身に付ける。・解剖学・生理学・運動学等の教科を通して、医療人に必要な基礎能力を育成する。・将来の理学療法士像をイメージし、主体性と創造性を育む。

前期	<ol style="list-style-type: none">① 心身機能や健康に対する興味・関心、理学療法士としての役割の理解や意欲を育む。② 社会人として必要な体調、時間、情意などの自己管理能力を身に付ける。③ 自分に適した学習方法と日々の学習習慣を確立し、解剖学・生理学・運動学などの基礎知識を習得する。
後期	<ol style="list-style-type: none">① 医療従事者として必要な心構え、他者の考えや思いを理解しようとする謙虚な姿勢を育成する。② 理学療法士の業務及びリハビリテーションや関連職種についての理解を深める。③ チーム医療に必要な協調性やコミュニケーション能力を身に付ける。

学年	到達目標
2年次	<ul style="list-style-type: none">・各疾患の特性やその治療方法を学び、理学療法の評価・治療技術を習得する。・校内での模擬患者にて、病態像の理解や臨床推論能力を高め、実践応用力を習得する。・評価実習において実習生としての態度と、臨床現場にふさわしい医療人としての立ち居振る舞いを身に付ける。

前期	<ul style="list-style-type: none"> ① 1年次に学んだ基礎知識の理解を深め、臨床医学と理学療法学の知識を習得する。 ② 正確性、再現性の高い検査・測定技術など理学療法の技術とコミュニケーションを含む対応能力を高める。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ① 海外研修でグローバルな視野や理学療法への探究心を育む。 ② 客観的臨床能力試験（OSCE）を導入し、より実践的な思考・判断力と実技能力を高める。 ③ 臨床思考能力を高め、エビデンスに基づいた理学療法の実践を段階的に学び身に付ける。

学年	到達目標
3年次	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床能力の要素である知識、技術、態度、情報収集力、総合判断力等を高め、実際の臨床現場で体験し、様々な状況に対応できる応用的能力を身につける。 ・課題研究を通して理学療法に関する探究心を育て、積極的に理学療法に取り組める態度を育む。 ・国家試験に対するグループ学習能力、自己主導型学習能力を養う。

前期	<ul style="list-style-type: none"> ① 社会人としての姿勢、態度、自己管理能力、コミュニケーション力を高める。また理学療法士として対象者を理解する能力と他職種への理解を高める。 ② 臨床実習において、エビデンスに基づいた理学療法及びチーム医療の実践と幅広い領域について学ぶ。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ① 課題研究発表で理学療法への探究心、チーム医療に必要な協調性とプレゼンテーション力を高める。 ② 国家試験合格のため、臨床実習で学んだ基礎知識・応用知識など理学療法に必要な学問の集大成を図る。

取得目標資格

理学療法士国家試験受験資格

就職分野

リハビリテーション病院、一般病院、診療所、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、
 高齢者デイサービスセンター、障がい児入所施設、児童発達支援事業所、訪問看護ステーション、
 行政機関、教育機関、福祉用具・機器関連企業、スポーツ関連施設 等

職種

理学療法士